ALERT: トルコイスタンブール南錨地における指定錨地外での錨泊作業に関する取り締まり

船舶が指定錨地の境界または外で錨泊した際に、パイプラインや海底ケーブルなどの海底インフラ設備との接触による遅延やクレームが発生する傾向にあります。

この件に関し、2025年5月7日にトルコ海事総局からトルコ国内の海事関係者へ通達が発行されました。

Istanbul Southern Entrance Anchorage Areas および Ambarli Regional Port Authority の管轄下にある錨地での錨泊作業の前に、船舶代理店は船長に対し錨泊作業は指定された錨地内で行うことを指示するよう求めています。指定された錨地内で錨泊作業が行われない場合は、タグボートの配船や水中検査などの措置を船舶側の費用負担で行われる可能性があること、さらに船舶が指定区域外で錨泊した場合、行政処分が科される可能性があります。

そのため船舶のスケジュール遅延を避けるため、指定された錨地内で錨泊作業を行う必要があります。また、錨鎖の長さや錨泊後の風向きの変化により、錨自体は錨泊時に海底ケーブルやパイプラインから安全な距離にあっても、船舶のふれまわり（旋回）を考慮する必要があります。海底ケーブルやパイプラインが存在する区域での船舶の旋回は現地港湾管理者によって危険とみなされ、船舶に対するクレームや遅延につながる可能性があります。

港湾管理者はトルコの港湾規則第40条(1)に基づき、これらの事案に関する行政調査を開始する決定を下す場合があります。その場合、船長、機関長、および航海士の供述が聴取され、関連手続きのために弁護士の選任が必要となり、Vessel Data Recorder (VDR) を含む関連の文書/資料の提出が要求されます。また、当局の通達のとおり、港湾管理者は錨泊に関する港湾規則の関連規定違反として、船舶の利害関係者に対し少額の過怠金を科すこともあります。

ご参考までに当局からの通達の原本と英語版を添付します。本アラートへの質問や詳細情報が必要な場合はご連絡ください。

email istanbul@kalimbassieris.com or Tel: (+90) 2164575600

Kalimbassieris Maritime AS (Istanbul)